



大寒波到来で、積雪量は例年の倍以上を記録したという報道を何度となく聞こえてきました。

♪ゆ〜きやこんこん、あられやこんこん〜と空から舞い降りてくるものを眼前にし、子どもらが庭駆けまわる光景などは、屋外一面を真っ白で極厚の丹前が覆った様を見れば、瞬時にかき消され現実がどしりと立ちあがってくる。早朝から除雪を何度しても、ずんずん積る雪。「冬は、つとめて」と実感する時代もあったようですが、雪深い地方からは、「冬はストレス」という声が聞こえてきそうです。



♪ あかりをつけましょ〜の時期、春はそこまで。

5歳児の体験入学2月4日。4月の入学式が楽しみ！

＜小学1年生、はりきる、先輩として立派に任務遂行！＞



宇川小学校での体験

*5年生からは、

絵本をよんでもらいました。ハンカチ落とし(遊び)も
たのしかったよ。

丹後小学校での体験

*学校行事の紹介を

してもらいました。今日は、わくわくどきどき
した一日になったよ。



昨年は、教えてもらう立場でした小学1年生が、教える立場となりました。成長をぐっと感じさせる姿が見られました。



＜小学校では＞

*遊びや勉強、異年齢のかかわりなどをおして、体験や学習の習得、基本的な生活習慣の定着を目指していきます。

丹後小 大縄発表会 1月29日

チームワークよく大縄跳びをしようと、子どもたちで考えて、運営を行い立派に行事を成功させました。みんなが楽しめた時間となりました。



宇川小

けん玉大会 2月7日

和室にて、児童が一堂に会して技を競いました。



また、小学4年生の**10歳の祝**(ととせのいわい)が行われ、自分の決意や体得したことを披露しました。子どもから保護者へ感謝の言葉が贈られ、感激の涙が流れた時となりました。

丹後中 2月1日



民生児童委員協議会・主任児童委員・保護司の方々が授業参観されました。また、懇談では、時代と共に授業形態が変わってきたことや入試を目指していること等の情報共有する機会となりました。その他、教師と生徒との信頼関係づくりが話題になりました。担任や養護教諭の他、指導に携わる教員全員が担当者と



なり、相談タイムを設定し生徒に向かう時間を大事にしている等、意見交換を行いました。

*** 中学校から報告(4月から、下記の通り変わります!)**

1 部活動について…野球部への入部希望生徒

拠点校部活動→網野中学校を母体として、網野中学校野球部といっしょに活動(土日)します。※平日は、丹後中学校で活動します。

2 自転車通学について…スクールバス通学生徒以外が対象

地区を限定せず、どの地区からも自転車通学ができます。 ※ただし、許可制



令和6年度末丹後学園全体研修会 2月18日(火) 丹後中にて開催、研修会前には保幼小中の教職員が中学1・2年生の授業の様子を参観しました。

今年度の丹後学園の活動の総括の報告、次年度の経営計画、主な年間行事計画の提案がありました。昨年11月には、保護者、民生児童委員、学校評議員、学校運営協議会委員の皆様にご学園評価アンケートをお世話になり、ありがとうございました。結果と分析につきましては、後日、別綴し冊子にして地域回覧板でご覧いただけるようお知らせしてまいりたいと考えております。



◆※記述回答一部紹介

- ①学園内の一斉挨拶運動を継続し、大人と子どもがともに取り組んでいくとよい。
- ②京丹後市の歴史や故郷を学ぶ機会に探究活動をさらに進めていくとよいのではないかな。
- ③SNS講演会は、参加してよかった。子どもも大人もスマホの危険性やアプリの良し悪しを知ることは大切だ。* (次年度もSNS関連の講演や子育てに関わる教育講演会を予定します。殊に、スマホの使用上の心すべきことや最新の情報を学ぶ良い機会になるかと思えます。ぜひご参加いただきますようお願いします。)



藤原学園代表(丹後中校長)の開会挨拶 一部抜粋

*京丹後市教育フォーラム(講師 細田教授)から講演内容の紹介「…これからを生きる子どもたちは、統計上約14の職業を経験した人と関わる時代になる。それは、一人ひとりが自分の生き方を選べる幸せと職業を選べることの難しさがあり、様々な価値観をもった人と関わる場面が増えることでもある。多くの価値観を自分で選択し、自分の生き方に置き換える力が必要な時代でもある。…これからの未来を生き抜くのは子ども。大人も同様にこれからの未来を生きていく。新たな知識やスキルを身につけ、社会の変化に対応できる自分にアップデートしていくことが大事である。そして、今までの価値観や教育観を破棄して思考をリセットさせる学習方法(アンラーン UNLEARN)により、これからの社会、教育に向かい合う必要がある。…」

予測困難な時代に生きていくための必要な力を子どもたちに身につけさせるためには、我々教職員がアップデートしていける指導者集団へと歩んでいかねばならない。そのためには、生徒の実態に応じた丁寧な指導とICTを効果的に活用した指導の転換が必要である。丹後学園の教職員が一枚岩となって、学園の教育目標にむけ邁進していくことである。

※二次元コードをご活用ください。HPでも見るができます。

